

第16回 PD パーキンソン病
ナース研修会

2020年11月1日(日)

会場 アイーナいわて
県民情報交流センター

パーキンソン病は超高齢化の日本で増加の一途を辿っており、近い将来にはパンデミックが発生するとさえ考えられています。知識を深め、症状や治療などへの対応を理解し、患者や家族の置かれる状況を把握することは、とても重要になると考えられます。複雑化する医療と同時に対応を求められる患者像も多彩化しており、パーキンソン病診療は医師、看護師、薬剤師、療法士、難病コーディネーター、医療相談員など職種による連携が欠かせない時代です。おりしもコロナパンデミックのため、日本全体が運動緩慢をきたしており、改善の兆しがなくままに2020年は暮れつつあります。患者さんにとってはコロナ感染を危惧して外出頻度が減り、身体を動かす場所が制限されたり、家族との外出も減少したりと、STAY HOMEの負の側面が現実になっているようです。未曾有の難局を乗り越えてゆくためにも、私たちが学び、行動して、諦めることなく取り組むことが最大の打開策ではないでしょうか。限られた時間ではありますが、逆にその分、凝縮集中して、みんなでパーキンソン病を学びましょう。

オーガナイザー 前田 哲也
岩手医科大学 脳神経内科・老年科



- 13:00-13:15 開会の挨拶 PD ナースとは? 前田 哲也 岩手医科大学 脳神経内科・老年科
- 第1部 みんなで学ぶパーキンソン病 (各 40 分)
- 13:15-13:55 看護師さんに知っていただきたいパーキンソン病の初期症状から日常フォローまで 演者 齋木 英資 愛知医科大学 PD総合治療センター
座長 前田 哲也 岩手医科大学神経内科・老年科 (共催) 武田薬品工業株式会社
- 13:55-14:35 デバイス補助療法を成功させる多職種連携パーキンソン病治療 演者 池中 建介 大阪大学医学部神経内科学講座
座長 山原 可奈子 こんの神経内科・脳神経外科クリニック (共催) アッツィ合同会社
- 第2部 基本の多職種連携 (各 15 分)
- 座長 阿部 隆志 あべ神経内科クリニック 座長 村田 隆彦 岩手県立二戸病院 脳神経内科
- 14:35-14:50 パーキンソン病の家族も支援する 演者 田村 美帆 岩手医科大学附属病院 看護部
- 14:50-15:05 幻視のあるパーキンソン患者の看護 演者 井上 博子 岩手医科大学附属病院 看護部
- 15:05-15:20 ナース目線の薬剤管理～デュオドーパ導入時の対応～ 演者 吉田 貴一 岩手医科大学附属病院 薬剤部
- 15:20-15:35 難病コーディネーターのお仕事 演者 石崎 智子 岩手医科大学附属病院 医療福祉相談室
- 13:35-15:55 多職種大会議
- 15:55-16:00 閉会の挨拶 前田 哲也 岩手医科大学 脳神経内科・老年科

参加費 3,000円

申込締切 2020年10月20日(火)

申込方法

MDSJホームページ(<http://mdsj.umin.jp/>)事前申込ページよりお申し込みください。